

作品「風にふかれて」

Kaze ni fukarete

椎名 澄子
Sumiko SHIINA

旭川大学短期大学部幼児教育学科



ブロンズ



「風にふかれて」

2014年発表の小品「風にふかれて」と同様のテーマで制作。

同じ時間に進行する2つの物語を一つの作品に表現した、彫刻本来の魅力でもある360度から世界観を感じることができる作品。小鳥は、その二つの世界をつなぐ役割となっている。また2014年の作品では、細い形状を活用しサワサワとした風が人物の周りを動く小さな世界を表現したが、この作品では人物や小鳥の具象的表現に対し風を表す壁を抽象的な形態にすることで、単に情景の説明になりすぎず広い世界観を感じる作品となった。

【その他 2018 年新作】



「はるかぜ」



「華のひと」



「はにかみ」

いずれも「椎名澄子彫刻展～風のうたを聴く～」2018年11月7日～26日開催
ギャラリーシーズ（旭川）にて発表